

## 令和元年度 第2回 四日市市地域公共交通会議議事録

1. 開催日時 令和元年11月25日(月)10時00分～11時00分

2. 開催場所 四日市市役所7階 部長会議室

3. 出席者(いずれも敬称略)

三岐鉄道株式会社 自動車部運行管理課長	伊藤 眞郷 (代理出席)
三重交通株式会社 四日市営業所営業係長	水谷 将良 (代理出席)
公益社団法人三重県バス協会 専務理事	青木 周二
一般社団法人三重県タクシー協会 専務理事	景山 和
四日市市自治会連合会 理事	伊藤 頼夫
神前地区まちづくり協議会 定住部会	佐野 しのぶ
国土交通省三重運輸支局首席運輸企画専門官	鈴木 博行
四日市建設事務所 副所長兼保全室長	竹内 一樹
四日市南警察署 交通官	植松 重光
四日市北警察署 交通課長	平井 光
三重県地域連携部交通政策課長	羽田 勇人 (代理出席)
四日市市都市整備部理事	川尻 裕司

4. 会議傍聴者等 3名

5. 配布資料

- ・ 事項書
- ・ 【資料1】 四日市大学線への連節バス導入について
- ・ 【資料2】 イオンタウン四日市泊へのバス乗り入れ予定について
- ・ 【別紙1】 磯津高花平線の路線図
- ・ 【別紙2】 磯津高花平線の時刻表改正案(平日)
- ・ 【別紙3】 磯津高花平線の時刻表改正案(休日)
- ・ 【別紙4】 協議運賃設定(案)

6. 川尻会長挨拶

7. 会議公開及び議事概要公開の報告 ⇒ 了承

8. 委員の臨時措置について

事務局 | 今回みなさまにお集まりいただきました経緯を簡単に会長の川尻より説明させていただきます。

会 長

この四日市市地域公共交通会議は、四日市市地域公共交通会議設置要綱第7条に基づき、四日市市都市総合交通戦略協議会の分科会として位置づけられております。

地域公共交通会議の委員となっただく方は、都市総合交通戦略協議会の委員の中から選ばせていただいておりますが、その中で警察署様としては、南警察署様に四日市市内の3つの警察署の代表として委員となっただいております。

今回の議題の1つである四日市大学線への連節バスの導入検討については、四日市北警察署様の管轄内のことでございますので、この四日市大学線への連節バスの導入検討については、北警察署様にも協議に参加していただく必要があります。

そこで、四日市市都市総合交通戦略協議会規約第16条に、「この規約に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。」と定められていることから、この条文に基づき、北警察署の交通課長様を臨時的に委員とさせていただきますので、よろしくお願いたします。

## 9. 議事

### (1) 「1. 四日市大学線への連節バス導入について」

会 長

「1. 四日市大学線への連節バス導入について」ですが、三岐鉄道様より、連節バスの導入についてご提案をいただきました。本日、代理出席していただいている、三岐鉄道株式会社 自動車部運行管理課長の伊藤様よりご説明をお願いいたします。

A 委員代理

資料をご覧ください。連節バスは、全長が長い路線バスであり、これまで海外製の車両はありましたが、日野自動車といすゞ自動車のジェイ・バスが製造した国産車が販売されることになりましたので、弊社としても導入していきたいと考えています。

導入を考えている路線としては四日市大学線で、JR富田駅、近鉄富田駅を経由して、四日市大学・看護大学、東芝メモリから社名変更したキオクシア四日市工場へ運行している路線です。車両は日野自動車のハイブリッド車で、導入予定は令和3年3月～4月で考えています。

導入の経緯としましては、四日市大学線は2年ほど前から東芝メモリへの朝夕への通勤、四日市大学・看護医療大学への通学の学生が集中しており、キオクシアの通勤渋滞などで定時性が守られない状態が続いています。キオクシアからは公共交通機関で社員を運んでほしいという話をいただいておりますが、運転手不足により、それを100%満たす回答ができずに現在に至っています。

連節バスを導入できれば、交通渋滞の緩和、排ガス抑制、環境負荷の低減にも貢献できるのではないかと検討しています。

資料4ページは、四日市大学線の現在の路線図をお示ししています。赤い丸で現在のバス停をお示ししています。資料5ページで、連節バスの導入を検討したい路線と停車バス停をお示ししています。JR富田駅と四日市北警察署前のバス停は省いています。JR富田駅と近鉄富田駅間は、重量規制されており、通行できないため、また、四日市北警察署前はバスポケットが連節バスに対応していないため、停車する予定はございません。

資料6ページに試走経路をお示ししています。弊社の車庫を出て、国道1号に出て、上海老茂福線を通り、近鉄富田駅を經由し、キオクシアまで行き、帰りは北勢バイパスを通る予定をしています。

資料7ページは、導入予定の日野自動車の連節バスの外観と内観のイメージ写真を載せています。定員は110～140名くらいで設定できると聞いていますので、通常の路線バス2台分の人数を運べると考えています。

資料8ページは試走までのスケジュール案をお示ししています。本日、地域公共交通会議を開催していただきまして、来月12月中に試走に関する特殊車両通行許可申請と基準緩和申請を提出させていただき、その旨、2月ごろに地域公共交通会議を開催していただき、5月くらいに試走したいと考えています。

資料9ページは試走から導入までのスケジュール案をお示ししています。試走が上手くいけば、6月頃に車両を発注し、地域公共交通会議を開催していただき、この中でいろいろとお話をさせていただき、9月にはダイヤを確定し、その後、認可申請、車両登録のほか、運転手の教育も行い、令和3年4月頃を目標にスケジュール設定しています。

現在の近鉄富田駅西口ロータリーの朝の状況をバス車両のドライブレコーダーの映像をスクリーンに流しますので、ご覧ください。

<フロントカメラの映像>

<左側(反転)カメラの映像>

ご覧いただきましたように、ロータリーがかなり混雑しています。毎日このような状況で、地域の方から苦情もいただいています。これは朝の7時30分前後の映像です。歩道からもかなりはみ出て並んでいただいている状況です。

会 長 事項書1「四日市大学線への連節バス導入について」の説明をいただきました。何かご質問、ご意見などございませんか。

会 長 運びきれないこともあるのでしょうか。

A 委員代理 現在、通勤時間に間に合っていない方もいらっしゃるようです。大学生に合わせたダイヤもありますので、遅れた方は、そちらに乗っていただいている状況です。電車が到着するとまた行列になる状況です。

- G 委員 この時間は何本くらいバスが出ているんですか。
- A 委員代理 1 時間に 1 2 本くらい運行しています。
- G 委員 過去最高ですね。東芝がここに来る前は全然だったと思います。
- A 委員代理 東芝四日市工場ができてから運行本数をかなり増やしています。
- 川尻会長 他にご質問、ご意見等ございませんか。
- G 委員 近鉄富田駅の北側は非常に狭い道路で、連節バスがロータリーを走行できそうな話もいただいているのですが、試走していないのでわからないと思いますが、いかがでしょうか。
- A 委員代理 メーカーからは、現在のロータリーで、障害物が何もなければ走行できると聞いています。しかし、ここは乗用車もロータリーを利用していますので、乗用車が入ってくると、どうなるか試走してみないと分からない。先に乗用車が入っていれば連節バスが動けない、先に連節バスが入っていれば乗用車が動けないという状態になる可能性はあります。
- G 委員 近鉄富田駅のロータリーを出て西へ行くと最初に左折する交差点がありますが、ここはどうでしょうか。
- A 委員代理 道幅からメーカーが試算すると、曲がれないことはない、と聞いています。
- G 委員 厳しいですか。
- A 委員代理 厳しいのは厳しいです。道路の改良があるかどうかまでは分からないので、そのために試走させていただきたいと思っています。
- G 委員 走れることは走れそうだから、とりあえず試走したいということですね。
- A 委員代理 そうです。
- 川尻会長 事務局や道路管理者様から何かご意見や補足などございませんでしょうか。
- E 委員 すすでにお話はいただいているのですが、道路の台帳などのご協力させていただいています。実際に走ってみて、厳しくなったらどうするのが気になります。特定大型車になり、申請も必要になると思いますので、試走しながら十分検討

していただくのが大事だと思います。ポイントとしては、駅前ロータリーと三洋堂へ曲がる交差点。あとは、上海老茂福線へ右折で曲がるのは、2車線へ入ることになるので問題ないと思いますが、帰りに左折するところもポイントとなります。四日市大学へ入るところも左折になりますので、懸念されます。道路改良や停止線の位置変更も出てくると思いますので、十分な協議をお願いします。

A 委員代理 承知しました。

B 委員代理 三岐鉄道への質問ではありませんが、キオクシア東門は、今も夕方17時台～18時台は、片側1車線道路ですが、弊社や三岐鉄道のバスのみならず、他社の貸し切りバスもズラッと連なっている状態にあります。弊社の路線バスも出発する際に反対車線に出て、これらのバスをかわしていくという危険な状態にあります。連節バスの導入に合わせて、改善していければと思っています。

川尻会長 東門のあたりの道路は市道だと思いますが、市から何かございますか。

伴課長 これからの作業の中で、市として連節バスの軌跡を描いていく中、どこでどのような支障があるかを確認していきたいと思っています。その中で、市道は我々が検討し、また、県道につきましては、三重県にお願いしていく部分もあると思いますので、よろしく願いいたします。先ほどのお話のような車両が支障となりうる件については、別途検証が必要となると思いますが、構造物として支障となる部分についてはこれから調べてまいりたいと考えています。

G 委員 車両の点検などはどちらで行われる予定ですか。

A 委員代理 全て三重日野で行う予定です。

G 委員 それは試走のルートに入っていますか。

A 委員代理 試走の時は、関東から車両を運んできて、四日市東インターで降りて試走ルートを走行する予定です。

A 委員代理 私から1点ございます。上海老茂福線を連節バスが走行させていくにあたって、PTPSシステム、公共車両優先システムの導入を警察様と一緒に考えていきたいと思っていますので、よろしく願いします。

川尻会長 そのあたりについては、地域公共交通会議などでも将来的な目標として、バスロケーションシステムなども含め、今すぐに導入ではないとしても、みなさ

んで検討していきましょう、ということになっていますので、検討事項として協議させていただければと思っています。

G 委員 とても良いシステムだと思いますが、現在連節バスの導入を検討している伊勢市の内宮―外宮線について、現在はPTPSの導入を検討中と聞きましたので、この動向もみながら、必要であれば導入していければいいなと思っています。

川尻理事 他に何かご意見等ございませんか。  
いただいたご意見等を受けて、事務局から何かございましたらお願いします。

事務局 色々なご意見ありがとうございました。本日いただいたご意見を関係者で協議させていただき、試走に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

(2) 2. イオンタウン四日市泊へのバス乗り入れ予定について

川尻理事 続きまして、事項書2「イオンタウン四日市泊バス乗り入れ予定について」、事務局より説明させていただきます。

事務局 まずは、2ページをご覧ください。

本年11月16日に日永地区のイオンタウン四日市泊がリニューアルオープンしました。オープン当日には、開店前に5,000人が列を作るなど、広範囲からも利用が期待できます。

次に、3ページをご覧ください。

このリニューアルオープンにあたり、これまで、国道1号に設置されていた「泊町北」をイオン四日市泊の敷地内へ移設するため、商業者、バス事業者、行政で調整を行って参りました。商業者であるイオンタウン様がスペースを提供し、バス事業者である三重交通様が路線変更等を行い、それにあたり、市がバス路線交通の乗り継ぎ拠点として、バス待ち環境の整備に取り組んでおり、令和2年1月にバス待合室が完成する予定です。

また、バスの乗り入れ及びバス待合室の供用開始時期は、リニューアルオープン後、年末年始商戦が落ち着く令和2年2月を目指しております。

次に4ページ目をご覧ください。(3) バス停位置図です。

左側の図面で青色の線については、敷地内における、バスの運行経路です。また、赤丸はバス停であり、ここに市がバス待合室を設置いたします。快適に待っていただけるよう、空調設備も設置いたします。このバス待合室のイメージについては、4ページ目の右上に示しています。さらに、バス停上屋のイメージを右下に示しています。

続きまして、5ページをご覧ください。(4) 延伸予定のバス路線について

です。

イオンタウンへ乗り入れる路線を表に記しております。1つは、四日市市自主運行バスの磯津高花平線です。詳細につきましては、後ほど説明させていただきます。他には、近鉄四日市駅を起点として、国道1号を通り、内部駅を経て小山田地区の和無田へ至る「長沢（和無田）線」、最後に、近鉄四日市駅を起点として国道1号を通り平田駅へ至る「平田四日市線」の乗り入れを予定しております。乗り入れ予定本数については、表をご覧ください。

次に、6ページをご覧ください。（5）期待する効果についてです。イオンタウン四日市泊へ乗り入れる際、期待される効果としては、イオンタウン四日市泊が交通の乗り継ぎ拠点となり、輸送人員が増加すること。また、近鉄四日市からイオンタウン四日市泊間における、通勤・通学利用が増加することが期待されます。

続きまして、7ページをご覧ください。

こちらは、市内の南部のバス路線図です。和無田線、平田四日市線のルートについては、こちらをご参照ください。なお、磯津高花平線のルートについては、後ほど、説明させていただきます。

8ページをご覧ください。（7）磯津高花平線の経路図について説明させていただきます。

ここでは、別紙1（A3横）をご覧ください。資料2の8ページと同様のものをA3で記しています。

磯津高花平線は、塩浜地区の磯津を起点として、塩浜駅、JR南四日市駅、そして国道1号を通り、日永地区の医療センター、四郷地区の高花平へ至る路線です。系統は3つあり、塩浜駅行、医療センター行、高花平行のものがありません。国道1号を横断する医療センター行、高花平行の全便の乗入を行いたいと考えています。

次に、磯津高花平線の運行ダイヤについて説明させていただきます。

9ページをご覧ください。（8）平日の時刻表（案）です。こちらにつきましては、別紙2をご覧ください。

イオンタウン四日市泊へ乗り入れる平日の時刻表（案）です。赤色の網掛け部分は、今回新たに設置する「イオンタウン四日市泊」のダイヤです。平日は合計9往復運行されていますが、先ほどもご説明したとおり、国道1号を横断する医療センター行き、高花平行きの系統を4往復イオンタウンへ乗り入れる予定です。

また、時刻表の関連では、次の9ページをご覧ください。（9）土日祝日の時刻表（案）です。

こちらについては、別紙3をご覧ください。全7往復しているうちの、医療センター行きの便2往復を乗り入れる予定です。

次に、11ページをご覧ください。（10）協議運賃についてです。こちらにつきましても、別紙4をご覧ください。磯津高花平線の運賃表（抜粋）です。

今回、イオンタウンに新たに乗り入れるため、協議運賃を設定する必要があります。バスの運賃は距離に応じたものになっております。イオンタウンへ乗り入れることにより、路線の全長は伸びますが、利用者への影響を考慮し、これまで設定していた運賃は変更せず、停留所「イオンタウン四日市泊」の協議運賃のみ設定させていただきます。別紙4の表の中で、緑色で着色してある所が、今回、設定する停留所「イオンタウン四日市泊」に係る運賃となります。

最後に12ページをご覧ください。(11) 今後のスケジュールです。

現状、イオンタウン四日市泊への乗り入れについて、皆様の合意を頂きくべきところですが、磯津高花平線の沿線の一部地元への説明を行った際、事務局側の手続きに不手際があり、最終の合意が得られておりません。地元から最終を得られたら、その旨の報告をさせて頂き、委員の皆様から合意を頂きたいと考えております。また、12月には、三重交通様より、延伸に係る手続きを中部運輸局三重支局様に行っていただき、令和2年2月からの乗り入れを考えております。

資料の説明は以上となります。

川尻理事

私から補足させていただきます。事務局の資料の説明の中で、沿線地域から最終の合意が得られていないと説明がありましたが、沿線地域からは内容については概ね合意を頂いています。

その際の資料の構成や会議への申し入れ等で地域と上手くやり取りできていない部分があったため、12月早々に改めて地域に説明に伺う予定をしております。

それでは、説明についてご意見ご質問等ございませんか。

F 委員

停留所「イオンタウン四日市泊」は交差点から近く、さらに国道1号から左折で入り、右折で出ることになりますが、この幅員で大丈夫でしょうか。

B 委員代理

停留所移設に当たり、弊社の運行管理者と事前に現地を確認し、幅員等については問題ないと判断しています。

F 委員

入り口でかなり混雑することが予想されるので、事故には気を付けて頂きたい。どのように考えておられますか。

B 委員代理

入り口付近では、自家用車と重複しているところが多く、懸案しています。事故が起きないように、イオンタウン様で配備していただくガードマンに誘導していただいたり、弊社につきましては、運転手にイオンタウン四日市泊店舗内では、事故に関する注意喚起を普段以上に行っています。

F 委員

開店してから、店舗を見に行ったが、入り口が非常に混んでいました。イオ



ンタウン様にはお願いしていますが、敷地内での誘導はしっかりと行っていただきたいと思います。イオンタウン様と連携して、事故防止に努めていただくようお願いします。

また、四日市あすなろう鉄道を利用して来店する方も増えていると思いますので、自動車での来店だけでなく、公共交通での来店に分散していただければ渋滞も緩和されるのではないかと思います。遠くから来店される方はあすなろう鉄道を利用していただいているようですので、これを機にあすなろう鉄道に乗ってみよう、という方も多いと思います。我々も様子を見ていきたいと思いますが、よろしくお願ひします。

川尻会長 他にご質問等ございませんか。

D 委員 イオンの運賃について、笹川西からイオンタウン間と JR 南四日市からイオンタウン間での運賃の整合性取れないと思いますが、何か意図があるのでしょうか。

B 委員代理 一部整合性が取れていないので、再度見直しいたします。イオンタウン四日市泊の前後で運賃が上がることはございません。

川尻会長 他にご質問等ございませんか。

H 委員代理 資料 5 ページについて、磯津高花平線に網掛けがされていますが、長沢線と平田四日市線も 2 月から乗り入れ開始でよいでしょうか。

事務局 乗り入れ時期については、3 路線とも 2 月上旬を予定しています。

H 委員代理 長沢線と平田四日市線については、地域間幹線系統ですので、イオンタウンへ乗り入れをすることで利用促進につながれば、と期待されるところです。国道 1 号からイオンタウンの敷地内に乗り入れることで、ダイヤが若干変わってくると思いますので、利用者に影響がないよう周知していただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。ダイヤは変わると思ひてよいのでしょうか。

B 委員代理 乗り入れる部分の時間がかかりますので、ダイヤの変更が必要となります。

H 委員代理 2 月という年度の途中ですので、利用者への事前の周知をよろしくお願ひします。

川尻会長 他に何かございませんか。事務局から、先ほど植松委員のお話にあったあすなろう鉄道の利用についていかがでしょうか。

伴課長 先ほど植松委員からお話していただきましたあすなろう鉄道の利用について少しご報告させていただきます。

あすなろう鉄道の泊駅は普段は無人駅ですが、イオンタウン四日市泊がオープンした16日（土）と17日（日）の両日とも、有人化し、併せて、乗車人数の確認をしていただきました。通常、土日は100人前後の利用がありますが、16日、17日は両日とも約500人の利用があり、通常の4～5倍の利用があったと報告を聞いております。

川尻会長 余談ではありますが、私も16日に見に行ったところ、泊駅から非常に多くの方が歩いていただいていた。市道の道路管理者として感じたのは、非常に狭い道路を自動車と歩行者が混在していたと感じました。あすなろう鉄道の利用促進とともに、交通安全にも配慮していかなければならないと感じたところ。個人的な感想ですので、また内部で共有してまいります。

川尻会長 他に何かご意見等ございませんか。  
私から1点、事務局にお尋ねします。  
乗り入れの具体的な日にちは決まっているのでしょうか。

事務局 2月1日からの乗り入れを目指しています。バス待合室、バス停上屋については、年末年始の商戦が落ち着く1月中旬ごろから工事に着手する予定で、1月中旬に工事を終え、2月1日から乗り入れを開始する予定をしています。

川尻会長 私からもう1点、ご報告させていただきます。  
イオンタウン四日市泊が新しく建替えられて、2階にイオンラウンジがあり、そこへの入り口に四日市を紹介するブースがあり、その中でもあすなろう鉄道は特別に車両のパネルを設置していただき、PRしていただいています。イオンタウン様に公共交通の利用促進にご協力いただいていることをご紹介させていただきました。

川尻会長 それでは議事を進行させていただきます。事務局いかがでしょうか。

事務局 先ほども説明させていただきましたが、本来であれば、この場で、皆様の承認を頂きべきところですが、再度、地元説明が必要であり、今後、地元への説明を実施し、合意を得られましたら、その旨の報告を皆様に書面でさせていただきます。それと同時に、延伸について、書面でのご承認をいただくことで、地域公共交通会議での合意とさせていただけないでしょうか。

川尻理事 事務局より、2つ提案がありましたが、まず1つ目として、本日は、磯津高

花平線の延伸について地元説明以外の部分にご承認をいただきたいこと、2つ目は、事務局が地元説明したのちに、12月に書面にて磯津高花平線の延伸についてみなさまに承認をいただくこと、この2点でございます。この2つは切り離せないと思いますので、一緒に決議を取りたいと思います。

本日、磯津高花平線の延伸について、地元説明以外の部分を承認し、事務局が地元説明をしたのちに、12月に書面にて磯津高花平線の延伸について決議をとることとしてよろしいでしょうか。

<異議なしの声あり>

川尻理事 異議なしの声をいただきました。みなさま、よろしいでしょうか。

<異議ありの声が出ないことを確認>

それでは、異議なしと認め、事務局からの提案のとおり、承認いたします。事務局は、12月に、地元説明を実施した旨を報告するとともに、書面決議の準備をお願いします。委員のみなさま、よろしく願います。

(3) 3. その他

川尻理事 それでは、最後に、事項書3「その他」に移らせて頂きます。折角、委員の皆様にお集まりいただいておりますので、四日市市の公共交通に関するご助言を頂く場にしたいと考えておりますが、なにかご助言などいただけませんか。

C委員 あまりバス事業者の足を引っ張りたくないのですが、10年ほど前、岐阜市で連節バスの清流ライナーを導入するときから反対です。危ないと思っています。ただでさえ、車内事故が多く発生しており、神奈川中央交通や新潟交通、近江鉄道バスでも幸い事故を発生させずに慎重に運行していただいておりますので、後発組が事故を起こして足を引っ張らないよう慎重にお願いしたいと思います。

A委員代理 我々もちろん、伊勢で連節バスの導入を検討している三重交通様も気を引き締めて頑張っています。

川尻会長 安全第一ですので、注意していただくことで、より安全に運行されていくのではないかと思います。

C委員 岐阜市も当時はかなり慎重で、岐阜駅と岐阜大学の2点間輸送しか認めなか

ったのですが、現在は途中でも停車しています。それだけ実績をつまれたのだと思います。運転手は見るとこがたくさんありすぎて、1両目のほかに2両目も見なければならぬ。カメラだらけで非常に疲れると思います。

川尻会長 道路管理者としてご協力できる場所があれば、ご協力させていただきます。走りやすい道路にすることで、運転手の負担を減らすことも可能だと思っていますので、運行事業者様と協力していきたいと思っています。

川尻会長 他にございませんか。  
このあたりで終了させていただきます。次の会議はいつ頃でしょうか。

A 委員代理 来月連節バスの試走にかかる許可申請等を行い、順調にいきましたら、2月頃に会議をお願いしたいと思っています。

川尻会長 ありがとうございます。このようなスケジュールも少し覚えておいていただければと思います。

以上をもちまして、地域公共交通会議を終了させていただきます。皆様、ご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。

10. 閉会